

「水防災意識社会 再構築ビジョン」土器川の減災に係る取組 ～住民タイムライン作成のための第5回ワークショップの実施～

平成29年1月15日(日)に、丸亀市内において、**モデル地区住民(地域コミュニティ役員、自主防災組織等)**、**香川県防災士会**、**丸亀市(危機管理課、建設課)**、**香川大学等**が参加し、第4回WSの結果を踏まえて作成した住民タイムライン(素案)の検証や修正、また住民タイムラインを実行するための地域コミュニティの連携体制の強化、地域連携による情報共有の仕組みづくりについて検討を行いました。

今回のWS(第5回)は、昨年11月のWS(第4回)に引き続き、昨年8月に土器川の氾濫域3市4町の首長らで作成した**「土器川の減災に係る取組方針」**に**住民目線を取り入れて実行する**ために、地域(住民、コミュニティ、自主防災組織等)が河川管理者等から伝達する防災情報等をもとに時間軸に沿って、どのように行動するのかを整理した**住民タイムライン(地域住民等の防災行動計画)**を作成するために開催しました。また、WSに先立ち、昨年12月に公表した**「想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図」**について、その内容や活用方法の説明を行いました。

今後は、これまでのWSの検討結果をもとに、**「土器川における水害に強いまちづくり検討会」**において、土器川周辺の住民自らが自助・共助の立場から避難行動(避難の目安、避難の方法、避難先等)や土器川が氾濫した後の対応を考えることができる**住民タイムラインのリーフレットの作成、リーフレットの活用や普及を推進していくための方策等について検討**を進め、「土器川の減災に係る取組方針」を実行して参ります。



ファシリテーター(香川大学)による説明



住民タイムラインの検討



共助による具体的な取り組み検討



テーブル発表